

# 家畜衛生だより

置賜家畜保健衛生所  
置賜家畜衛生指導協会  
〒999-2232 南陽市三間通 444  
TEL 0238-43-3217  
FAX 0238-43-5249

R4 - 53 R4年12月発行

## 牛コロナウイルス病対策 について

冬になると、急激な気温の低下や換気不良などにより、牛の下痢症が多発します。牛コロナウイルスは、子牛の下痢症や呼吸器病の原因となり、子牛の場合、重症では脱水症状で死亡することもあります。

搾乳牛では、乳量の低下が問題となり、牛群内で急速にまん延することで、経済的な損失をもたらします。

### ○ウイルスを侵入させないことが重要です

- ・農場出入り口での消石灰散布、蓄圧式消毒器の設置
- ・外来者専用の長靴やシューズカバー、紙つなぎを用意
- ・牛舎入り口に踏込み消毒槽を設置
- ・消毒薬は汚れたら交換しましょう。冬季は低温により消毒効果が低下するので、夏場より高めの濃度で作成しましょう。

### ○ストレス軽減

汚れた牛床では、牛の体が濡れてしまい体温が低下します。清潔な環境で飼養しましょう。

### ○換気対策

天気の良い昼間や牛舎内での作業中に、換気をしましょう。

## 〈予防対策の例〉



車両消毒



踏み込み消毒槽の設置（ビルコンS等）



通路等への石灰散布



牛床を清潔に保つ

**いつも以上に衛生管理を徹底**するようにお願いします。

日ごろから健康観察を行い、異常な家畜を見つけた場合はかかりつけ獣医師や家畜保健衛生所までご連絡ください。

0238-43-3217

080-1840-0705

